

「飛鳥・藤原の宮都」
世界遺産登録記念シンポジウム

世界文化遺産

「飛鳥・藤原の宮都」 の魅力

—飛鳥時代の国づくりと国際交流—

2026年

11月15日(日)

【時間】 13:00～17:00(開場 12:30)

【会場】 関西大学千里山キャンパス
第1学舎1号館千里ホール

【主催】 関西大学博物館

参加費

無料

定員

500名 先着申込順

I部(13:00～15:10)基調講演

「『日本国』誕生の舞台—飛鳥宮跡・藤原宮・京—」
国立歴史民俗博物館名誉教授 林部 均

「飛鳥の古代寺院を探索
—川原寺・川原寺裏山遺跡を中心として—」
前群馬県立歴史博物館特別館長 右島 和夫

「飛鳥・藤原の墳墓—八角墳を頂点とする社会秩序—」
明日香村教育委員会文化財課課長補佐 西光 慎治

II部(15:30～16:50)シンポジウム

国立歴史民俗博物館名誉教授 林部 均
前群馬県立歴史博物館特別館長 右島 和夫
明日香村教育委員会文化財課課長補佐 西光 慎治
司会 関西大学文学部教授・博物館長 井上 主税



関西大学博物館
Kansai University Museum

世界文化遺産「飛鳥・藤原の宮都」の魅力

—飛鳥時代の国づくりと国際交流

今夏にユネスコ世界文化遺産への登録が決定した「飛鳥・藤原の宮都」は、飛鳥時代、奈良盆地南部につくられた古代国家の形成過程を象徴する遺跡群です。

この「飛鳥・藤原の宮都」の構成資産には、関西大学名誉教授の末永雅雄先生や網干善教先生によって調査が行われた遺跡が多く含まれており、その調査には関西大学文学部考古学研究室も深く関わってきました。現在もお明日香村教育委員会と共同で飛鳥地域の発掘調査を実施しています。

本シンポジウムでは、明日香村と長年共同で発掘調査を行い、今回の世界文化遺産登録にも深く寄与した関西大学文学部考古学研究室の学術的成果を交え、「飛鳥・藤原の宮都」の普遍的価値とその魅力を、「国づくり」と「国際交流」の2つの視点から紐解きます。

講師プロフィール

林部 均

国立歴史民俗博物館名誉教授
関西大学非常勤講師

1960年大阪府生まれ。関西大学文学部史学地理学科卒業。博士(文学)〔奈良女子大学〕。奈良県立橿原考古学研究所を経て国立歴史民俗博物館教授。2026年3月退職。専門は、飛鳥宮・藤原京といった東アジアの古代宮都の研究。

右島 和夫

前群馬県立歴史博物館特別館長

1948年群馬県生まれ。関西大学大学院文学研究科修士課程修了。博士(文学)〔関西大学〕。群馬県立歴史博物館館長・特別館長などを歴任。古墳時代の群馬(上毛野)が東日本屈指の有力地域であったことを実証した、東国古墳時代研究の第一人者。

西光 慎治

明日香村教育委員会文化財課課長補佐
関西大学非常勤講師

1970年大阪府生まれ。関西大学大学院文学研究科博士課程後期課程修了。博士(文学)〔関西大学〕。専門は日本考古学。入行以来、キトラ古墳をはじめ牽牛子塚古墳、川原寺裏山遺跡、都塚古墳、中尾山古墳など村内の主要遺跡の調査を担当。

参加申込み

受付開始: **2026年10月7日(水) 9時から** 定員: **500名** [先着申込順] 参加費: **無料**

参加を希望する方は、右側の**二次元コード**または**博物館のHPのお知らせ**からお申し込みください。個人情報の取り扱いは厳重に行い、本シンポジウムの運営以外には使用いたしません。



※シンポジウムへのご参加にあたり、合理的配慮をご希望の場合には、準備の都合上10月31日(土)までに関西大学博物館(下記問い合わせ先)にご希望の内容をお知らせください。ご希望内容を確認のうえ、できる限りの対応を検討いたします。

会場案内

〔日時〕 **2026年11月15日(日)**
13:00~17:00(開場 12:30)

〔会場〕 **関西大学千里山キャンパス**
第1学舎1号館千里ホール

大阪府吹田市山手町3-3-35
阪急千里線「関大前」駅北改札口から徒歩10分



〔問い合わせ〕

関西大学博物館 (月曜～土曜日:午前9時～午後5時)

TEL:06-6368-1171

E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp

HP:https://www.kansai-u.ac.jp/Museum/